

指揮**藤岡幸夫** *Fujioka Sachio*

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子、サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントも務めた。

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1992年最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られるサー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞を特例で受賞。1994年ロンドン《プロムス》にBBCフィルを指揮してデビュー以降数多くの海外オーケストラに客演。オペラでもスペイン国立オヴィエド歌劇場等で脚光を浴び、2024年11月フォーレ没後100年の命日にはパリのマドレーヌ寺院でレクイエムを指揮する栄誉を担った。

首席指揮者として毎年40公演以上で共演し2025年が26年目のシーズンとなる関西フィルとの一体感溢れる演奏は高い評価を得、4月からは総監督として更なる重責を担う。また2019年の首席客演指揮者就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。

英シャンドスからBBCフィルとのCD 8 枚、ALM RECORDSから関西フィルとのシベリウス交響曲全集をリリース。著書に『音楽は好きですか?』『続・音楽は好きですか?』（敬文舎刊）。

番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』（毎週土曜朝8:30・BSテレ東公式YouTubeチャンネルで Archive 配信中）は2024年10月で11年目、放送500回を超える人気番組。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。津山出身洋学者・箕作阮甫6代末裔。

▶公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

▶X (旧Twitter) アカウント @sacchiyo0608



©SHIN YAMAGISHI

管弦楽**関西フィルハーモニー管弦楽団** *Kansai Philharmonic Orchestra*

1970年発足、2018年公益財団法人化、2025年に楽団創立55周年を迎えた。関西を代表するオーケストラの一つとして文化的・社会的貢献を果たすため、積極的に活動が続いている。

2025年4月より、藤岡幸夫が総監督・首席指揮者に就任し、新たな指揮者陣体制で臨む。鈴木優人が首席客演指揮者、リオ・クオクマンがアーティスティック・パートナー、世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが名誉指揮者に就任。また、永久桂冠名誉指揮者に故飯守泰次郎（2023年没）。

東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。演者と聴衆、舞台と客席、垣根を越えての交流を図り、関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開、クラシック音楽の裾野を広げる活動など、明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。

2021年度に飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」が、2022年度に山田和樹×関西フィルほか大阪4楽団「シューベルト交響曲全曲演奏会」が音楽クリティッククラブ賞本賞を受賞。

2023年にはベルギー、フランス、ドイツの3カ国3都市を巡る楽団2度目の欧州公演を開催、各地で大きな注目を集めた。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」に藤岡幸夫と共に出演中。



©s.yamamoto

▶オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

▶X (旧Twitter) アカウント @kansaiphil